

わかやまし社協

和歌山市社会福祉協議会 住所 和歌山市小人町29番地 あいあいセンター福祉交流館内

TEL 073-431-5249 FAX 073-431-5248 <https://w-shakyo.wixsite.com/w-shakyo>



三世代交流 『大新ふれあいスポーツ広場』



令和4年度赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました



お問い合わせ先

和歌山市共同募金委員会 事務局 ☎073-431-5246

募金運動にご協力いただきまして、
たくさんの方の皆様に、心より感謝
申し上げます。
皆様からいただいた募金は、地
域福祉の貴重な財源として活用さ
れます。
今後とも共同募金へのご理解、
ご協力の程、よろしくお願いいた
します。

～ TOPIX ～

- 『フードドライブ』について
- 災害に備えた取り組み
- ボランティアセンターからのお知らせ
- 学生支援フードパントリー開催報告
- 子育て支援『チャイルドシート・ベビーカー』の貸出について
- 非常勤ホームヘルパー募集
- 善意銀行にご支援・ご協力のお願い



「もったいない」を
「ありがとう」へ



【ご寄付いただきたいもの】

食料品	お米、缶詰、レトルト食品、飲料水、調味料、 乾麺、即席ラーメン、お菓子等 ・賞味期限、消費期限が2か月以上あるもの ・常温で保存可能なもの ・未開封のもの
日用品	せっけん、シャンプー、洗剤、マスク、 トイレットペーパー等 ・未使用のもの

ご寄付いただける方は、下記までご連絡をお願いします。

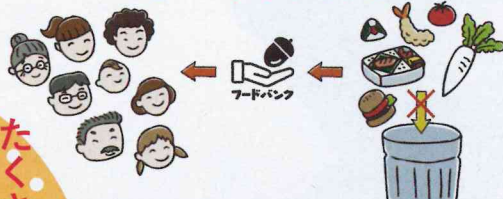
フードドライブとは？

家庭で余っている食料品などを集めて、それらが必要としている方々や支援団体等に提供する活動のことです。当会では、生活に困っている方の相談を日々お受けする中で、緊急的に支援が必要な方へ「緊急的生活支援サービス」として、フードドライブにより地域の皆様や企業からいただいた食料品などを提供させていただき、大変役立てております。

フードロスの削減に

日本では、まだ食べられるのに廃棄される食料品、いわゆる「フードロス」は年間522万トン（令和2年度推計値）、国民一人当たりに換算するとお茶碗約1杯分（約113グラム）の食べものが毎日捨てられていることになるそうです。

【フードドライブ】



新型コロナウイルスの影響が長期化し、様々な面で困難な状況にある世帯が増えています。当会では、令和5年1月23・24日、和歌山市あいあいセンター福祉交流館にて、生活にお困りの世帯に対し、食料品や学用品などの無料配布会を開催し、101世帯の方に物資をお渡しすることができました。これらの食料品や学用品は、フードドライブにより多くの市民や企業、団体の皆様からご寄付いただいたものです。皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

第2回生活困窮者のための支援プロジェクト 「食料品・学用品などの無料配布会」を実施

たくさんの寄付をいただきました
ありがとうございます

延べ21の個人の方や事業所様からたくさんの食料品及び日用品をいただきました。

（敬称略・令和4年11月～令和5年1月末）

株式会社総本家駿河屋

株式会社オークワ

福田成男

匿名18件



お問い合わせ先

生活支援班 ☎073-422-2081

災害に備えた取り組み

Q

防災クイズ

①

大人1人に必要な飲料水は
1日3リットル?

②

「避難勧告」「避難指示」
「避難準備情報」のうち
一番危機が迫っているのは
「避難勧告」?

③

避難時の服装は
動きやすいように
なるべく身軽な薄着にする?

④

災害時停電したら
ツナ缶がランプ代わりになる?

⑤

「171」は災害用
伝言ダイヤルである?

近年、日本を含む世界各地で毎年
のように大規模な自然災害が発生し、
甚大な被害がもたらされています。
また、南海トラフ巨大地震が、向こ
う30年以内に70%から80%の確率で
発生するといわれているので、その備
えは非常に重要です。
このような中、当会としては、安
心・安全に暮らせる福祉のまちづく
り・災害にも強いまちづくりを目指
し、様々な取り組みを行っています。

① 災害ボランティアセンター 設置運営訓練

地域の復興につなげていくことを目的
に設置し、災害時に、ボランティア活動を
効率よく円滑にすすめるため、年に1回
訓練を実施しています。



② 関係機関・団体との 協力体制の構築

災害支援は、地域の団体や企業、外部
支援者等との連携協働が不可欠となり
ます。
そこで、災害対応に関わる幅広い関係
機関・団体等との顔の見える関係づくり
として、協力体制の協定を結んでいます。

- 県内30市町村社協
【平成24年1月締結】
- 和歌山青年会議所
【令和2年12月締結】
- 和歌山大学
【令和4年5月締結】
- 和歌山市
【令和4年10月締結】



③ 災害ボランティア事前登録制度

災害ボランティアとして事前に登録
する制度を令和元年度からスタート
させ、災害発生時に災害ボランティア
活動が円滑に行えるような仕組みづ
くりを行っています。

★登録条件

- ・和歌山市内在住の方
- ・和歌山市内に通勤・通学の方
- ・満15歳以上の方
- （未成年者は保護者の同意が必要）

★申込方法

所定の用紙に記入
の上、持参・FAX・
郵送、又は、QRコ
ードからアクセス
してWEBにて登
録もできます。



A

- ①...○ 呼吸や汗、排泄行為などで約2.5ℓの水
分を失うため、それを補う水分が必要
- ②...× 「避難指示」が一番危険が迫っている
サイン
- ③...× 避難する時は、ケガから守るため、夏
でも長袖・長ズボンを着て肌の露出を
控える
- ④...○ 缶に穴を開け、綿の紐等を差し込み、
火をつける
- ⑤...○ 局番なしの「171」伝言を録音できる

お申込・お問い合わせ先

和歌山市社会福祉協議会ボランティアセンター

☎073-431-0028 FAX073-431-5250

(〒640-8226 和歌山市小人町29番地 和歌山市あいあいセンター)

不動産の相続に お困りの方必見!!

不動産相続についてのお悩みをお聞かせください。
一人一人に合ったご提案をさせていただきます。
どのようなことでもお気軽にご相談ください。

手続きとか
どうするの?

あの土地、
誰の名義だっけ?

空き家を
処分したいけど...

●新型コロナウイルス感染症対策として密集を避けるため、ご来店の事前連絡にご協力ください。

TEL.0737-22-3809

有田川町上中島775-1 FAX.0737-22-3810
https://www.akayama-fudousan.co.jp

メールでのご相談もOK akayama.2010.1122@gmail.com

和歌山県知事(1)第3931号

FP・相続・不動産のことなら
合同会社 赤山事務所

お好み焼き なる様 向かい



★ボランティアセンターからのお知らせ★

ボランティア保険の取扱いを行っています

国内においてボランティア活動中に、自分自身がケガをしたり、他人に対する損害を補償する保険です。
万が一に備えてボランティア保険に加入しませんか。



安心を支えます

【保険料】 (1日・1名につき)

- ・Aプラン 28円～参加者が事前に特定できる行事
- ・Bプラン 241円～宿泊を伴う行事
- ・Cプラン 28円～参加者が事前に特定できない行事

※A・Cプランは、最低20名分の保険料が必要

※Cプランは、往復途上の事故は補償対象外

※新型コロナウイルス感染症は、補償対象外

※1件につき110円の手数料が必要

【補償期間】 行事開催日

【年間保険料】

- ・基本プラン 350円
- ・天災・地震補償プラン 500円
- ・特定感染症重点プラン 550円

【補償期間】 4月1日～翌年3月31日

(期間内において中途加入も可能)

ボランティア活動保険
ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う各種行事におけるさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償



- ・往復途上の事故も補償
- ・熱中症・食中毒も補償
- ・宿泊を伴う行事にも対応



- ・往復途上の事故も補償
- ・特定感染症(新型コロナウイルス感染症含む)も補償
- ・熱中症・食中毒も補償
- ・天災・地震補償プランでは地震・噴火・津波による死傷も補償

※治療(修理)に時間がかかる場合は入院(お預かり)となります。また病状によって治療(修理)できない場合があります。※気象状況等により、休診となる場合があります。



日本おもちゃ病院協会

治せるおもちゃ

プラレール・ミニカー・オルゴール・ぬいぐるみ
電池で動くおもちゃ など



治せないおもちゃ

DS、PSPなどのゲーム機
商用電源を使うもの
ドローン等の精密機器 など



壊れたおもちゃを治療します！
おもちゃ病院 開院

動かなくなったおもちゃはありませんか？
おもちゃドクターが壊れたおもちゃを治療します。

◎診察日 毎月第1土曜日

(5月・8月・1月は休診)

◎診療時間 9時から12時

◎診療場所 和歌山市あいあいセンター
4階工作室

◎診療費 原則無料

(部品代などの費用がかかる場合あり)

お問い合わせ先 和歌山市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎073-431-0028

成年後見

相続・遺言・死後事務



～こんなご相談がよく寄せられています～

- 入居者に身寄りがなくて困っている
- 障害のある子どもの将来が心配だ
- 認知症になったとき財産の管理をどうするか不安だ
- 自分のお葬式を頼める人がいない
- 亡くなったあと慈善団体に遺産を寄付したい
- 相続した不動産や銀行口座の名義を変更したい

**無料個別
相談会実施中!**

施設、病院などへの
出張相談もいたします



場 所 司法書士 トチノ
ご予約 行政書士
問合せ 社会福祉士

羽野法務事務所

和歌山市東長町3-23 有 代表 羽野 進次(トチノ シンジ)

☎073-488-7966

株式会社 総本家駿河屋様

フードドライブにご協力ありがとうございます



令和4年12月、本事業の趣旨に賛同していただき、「これらのお菓子を役立ててもらいたい」と（株）総本家駿河屋岡本社長より、プリンと水ようかん三千個をご寄付いただきました。

いただいたお菓子は、相談窓口にてこれら生活困窮者の方々や学生支援フードパントリー事業、市内の児童養護施設等にお届けし、大変喜んでいただきました。温かいご支援に心より感謝申し上げます。

お問い合わせ先 生活支援班 ☎073-422-2081

令和4年度

共同募金特別配分事業

学生支援フードパントリー

（食料等支援）を開催

当会では、共同募金の配分金を活用し、長引くコロナ禍において、アルバイトの打ち切りや物価の高騰により、生活面に不安を抱える学生を支援するためのフードパントリーを近隣の大学生を対象に3日間開催し、360人に食料品や日用品の配布や心配ごと相談などの支援を行いました。

開催日に実施したアンケートでは、不安に感じることとして「生活費や学費」「就職や将来」への不安が多数であり、現在の経済的・社会的不安が感じられる結果となりました。また、今回のフードパントリーについて尋ねたところ、大半の学生から「満足している。今後開催してほしい。」との回答をいただきました。

お問い合わせ先 総務管理室 ☎073-431-5249



子育て支援

チャイルドシート・

ベビーカーの貸出

乳幼児がいるご家庭等にチャイルドシート・ベビーカーの貸出を行っています。



お問い合わせ先

管理育成班 ☎073-431-5246

対象者	利用料	貸出期間	その他
和歌山市内に在住の方 (和歌山市へ帰省する親族が一時的に使用する場合も貸出可能。)	無料。ただし、クリーニング代(2,800円)が必要。	最長3か月	貸出を希望される方は、使用予定日の1か月前から予約を受け付けます。当会までご連絡ください。 貸出条件の確認や使用予定の車の車種など確認いたします。 ※緊急時はご相談ください。

Dlp 第一薬局

和歌山でいきいきと暮らしていくためにできること。

[本社] 〒640-8303 和歌山市鳴神 491-3

☎(073) 475-6704 ✉d1phns@miracle.ocn.ne.jp

第一薬局



everything for your smile

お気軽にご相談ください

本店	須佐病院様まえ	☎(073) 427-2822
黒田店	仲河眼科様となり	☎(073) 474-2117
川永店	米田医院様となり	☎(073) 462-1080
鳴神店	宇都宮病院様となり	☎(073) 476-5110
医大前店	和医大東玄閣まえ	☎(073) 441-5908
日方店	海南医療センター北側	☎(073) 484-3731

土入店	西和歌山病院様となり	☎(073) 488-5254
吉田店	池田クリニック様となり	☎(073) 423-1711
宮店	中谷病院様となり	☎(073) 475-0410
小雑賀店	木下耳鼻咽喉科様まえ	☎(073) 425-5010
和佐店	はやしクリニック様となり	☎(073) 472-0010
海南駅前店	駅前Y Tビル1F北側	☎(073) 484-3377



民生委員・児童委員研修会を開催

令和5年2月6日
(月)、ダイワロイネットホテル和歌山とホテルグランヴィア和歌山で「令和4年度和歌山市民生委員・児童委員研修会」を開催しました。民生委員としていろいろな知識を身につけるために、今回は「ひきこもりの理解と支援」と題して、和歌山市保健所保健対策課こころの健康対策グループの松岡班長にお話ししていただきました。



ひきこもりとは、学校にも仕事にも行けず、家族以外の知人との交流もないまま、6か月以上自宅などにとどまり続けている状態をさし、病名ではありません。学校や会社、あるいは日常生活の面で見られる身体的疲労、精神的疲労が長期に続いた結果、エネルギーの低下が見られ、気分が落ち込んだり、元気がなくなったり、疲れやすかったり、体の不調(頭痛、めまい、下痢など)が見られるようになり、人と会うことを避け、何事にも関心がわきません。外に出たがらず、今まで好きだったことにも、興味がわかなくなってしまう。それが限界にきて、不登校やひきこもりになって、はじめて周囲の人に気づかれます。回復には、まずはエネルギーを取り戻すことが必要で、一定の期間、焦らずに、「待つ」「見守る」ことが重要です。

ひきこもりは誰にでも起こり得ることです。その回復には、本人や家族の支援はもちろんですが、社会環境を整え、制度や仕組み、相互理解を進めていくための働きかけも必要だとお聞きしました。

誰かに頼ることは恥ずかしいことではありません。民生委員・児童委員は法律により守秘義務が課されており、活動上で知った個人情報厳守します。困ったときはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 **和歌山市民生委員・児童委員協議会 事務局** ☎073-431-5566

今福おこし

みんなで作る
まちづくりの第一歩



昨年9月から今福地区では、連合自治会長、地区社協会長、民児協会長を中心にたくさんの方が集まり、「今福おこし」と名づけ、地域の活性化に向け協議しています。

協議するきっかけとなったのは、令和2年に発生した市内北部の大規模な断水です。この件により、今福地区内にある銭湯は、連日入浴に困るたくさんの方を支えていました。地元の方は、この光景を「昔の活気が蘇ったようだ、また活気を取りもどせたら」と話されていたそうです。

銭湯の歴史は古く、庶民の入浴文化は江戸時代には確立され、汗を流す場所としてだけでなく、人と人とのコミュニティを築くことのできる憩いの場所でもありました。また、顔なじみができ会話すること、自然にできる空間となっていました。しかし、時代の流れとともに家庭風呂が主流となり便利な半面、大切なコミュニティの機会が減少しています。

協議する中で、地域の方が気軽に集える場所があったら…昔のようにラッパの音で子どもたちが集まり、子どもたちの笑顔とともに紙芝居が始まる…そんな場がまたできれば…との意見もありました。

地域の声を聞き、課題を知り、地域を想い願うこと。それが、みんなで作るまちづくりの第一歩ではないでしょうか。

お問い合わせ先 **和歌山市地区社会福祉協議会 事務局** ☎073-431-5247

和歌山市老人クラブ連合会

老人クラブに入会して
コロナもカラダも健康に！

コロナウイルス感染症が流行したこの数年は、外出する機会が減ったり、楽しみにしていた通いの場がお休みになっていた、以前とは違う日常を過ごしているのではないのでしょうか。

家で過ごす時間が長くなると筋力も、気持ちも落ち込んでしまい、閉じこもりになってしまふことが心配されます。

老人クラブは、人と人とのつながりを大切に、地域での友愛活動を通じての声かけ、閉じこもりや、孤独を防ぐ取り組みもしています。

スポーツ行事、地域活動など、老人クラブに入会し、仲間が仲間をつくり、クラブや地域でコロナとカラダの元気づくりを始め、健康寿命を延ばしましょう。

お近くの老人クラブを
お知らせになりたいときは、
お気軽に事務局まで
お問い合わせください。



お問い合わせ先 **和歌山市老人クラブ連合会 事務局** ☎073-425-0460

県下一円を結ぶネットワーク 国土交通省認定 優良事業者整備工場
あんだ 建設機械産業 車両整備指定工場

株式会社 庵田自動車商会 創業75周年
和歌山・アングモータース・田辺・新宮・和特

整備士(社員)募集中
【お問い合わせ】073-452-1111 総務まで
☎640-8411 和歌山市梶取48-1

【和歌山中央店】元寺町5-1 Tel 073-422-2128

スマイル車検 コンピュータによる健康診断

今まで以上の安心・安全をお届けします。是非お試しください。

お試し診断 実施中!!

【和歌山北店】梶取40-2 Tel 073-452-2313

「ともに生きる豊かな地域社会」

の実現をめざして

皆さんは、SDGs(持続可能な開発目標)をご存じですか？

2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成をめざす計画であり、その目標の中には「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現が掲げられています。

全国社会福祉協議会(全社協)の福祉ビジョンでは、SDGsの目標に加え、国が進める「地域共生社会」の二つ方向性をもとに「ともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざしています。

当会では、和歌山市地区社協と協働し、一人暮らしの高齢者の見守りを目的としたふれあい食事サービス、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりのいきいきサロン、三世代が集うふれあい広場の実施や、ご家庭にある食料品や不要となった物資をご寄付いただき、生活困窮世帯・支援団体などへお届けする「緊急的生活支援サービス」を行うことでフードロスの解決にも携わっています。

こうした取り組みによって、住民へのフォローアップ支援にもつながる実践活動として、地域の福祉関係者とともに、多様な組織・関係者をつなぎ、地域の生活課題の解決に向けた支援づくりを行い、全社協の目標である「ともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざし活動を推進してまいります。



和歌山市地区社会福祉協議会 会長会
「SDGs 研修会」



楠見地区「おとな食堂」

お問い合わせ先 地域福祉推進室 地域福祉班 ☎073-431-5247

ご存知ですか？

福祉サービス利用援助事業

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安のある方の地域生活を支援します。

●このようなことで困っていたらご相談ください

- ・福祉サービスを利用するにはどうしたらいいの…？
- ・月々の支払いがきちんとできているか不安…
- ・最近物忘れが多く、通帳や印鑑をどこに置いたか忘れてしまう…
- ・お金を計画的に使うことが難しい…

●対象となる方

判断能力が不十分な高齢者や知的障がい者、精神障がい者の方で、契約内容や支援計画の内容を理解できる方

●利用料

○訪問など支援

1時間1,000円

(契約までの相談は無料)

1時間を超えた後30分の延長ごとに

500円ずつ加算

※生活保護受給者は無料、住民税非課税の方で預貯金350万円未満の場合は半額助成が受けられます。

○書類などの預かり

1か月850円

※書類等の保管のためだけの利用はできません。

現在、利用希望者が多く相談受付から訪問調査までにお時間をいただいておりますが、まずは、ご相談ください。

お問い合わせ先 生活支援班 ☎073-423-0021

5月は赤十字運動月間です

～救いを託されている。～



お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山県支部
和歌山市地区 事務局 ☎073-431-5246

赤十字の活動を一人でも多くの方にご理解いただくことを目的に、5月1日の日本赤十字社の創立記念日、そして8日の世界赤十字デーに合わせ、5月1日からの1か月間を『赤十字運動月間』として様々なイベントや活動を全国各地で展開しています。

本年も日赤活動資金募集運動にご理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。

募集

非常勤ホームヘルパー

利用者のご自宅を訪問し、日常生活全般にかかわるサポートをするお仕事です。

○資格 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)以上お持ちの方

または、生活支援型訪問サービス従事者養成研修受講済みの方

○給与(時給) 身体介護▼1,600円

生活援助▼1,100円

※手当 移動手当 1件 223円

活動手当 1件 50円加算

※土・日・祝日 時給200円アップ

※訪問実績に応じ、介護職員処遇改善加算一時金の支給あり(年2回)

○勤務時間・曜日等、相談に応じます。

○直行直帰型なので家庭との両立もできます。

○週1回からでもOK!

★まずはお気軽にお問い合わせください。



お申し込み・お問い合わせ先

介護福祉班 ☎073-431-0410
(〒640-8157 和歌山市八番丁4番地)

善意銀行

善意銀行にご支援をお願いいたします。

善意銀行は、個人様、企業様から寄付金をいただき、児童・高齢者・障がい(児)者の方々への福祉に活用しております。

一人ひとりの心にある「社会に貢献したい」「この街に役立てたい」という温かい想いで成り立っています。和歌山市に住む子どもから高齢者まで、すべての世代の方にとって住みよい福祉の街になるようこれからも活動を続けてまいります。

今後とも善意銀行にご支援・ご協力をお願いします。



▶第41回チャリティー日本民謡まつりにて、大野会長(写真右)から寄付金が贈呈されました。

令和4年12月からの寄託者は次の方々です。(敬称略)

12月

・新極真会和歌山支部

・第41回チャリティー日本民謡まつり実行委員会

・真如苑和歌山支部

・福祉レクリエーション友の会

・匿名2件

寄付に関する申出・お問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

皆様の温かい善意をお待ちしております。

お問い合わせ先 総務班 ☎073-431-5249

福祉総合相談

- 日 時 毎週月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
①9時～11時 ②13時30分～15時30分
- 場 所 和歌山市あいあいセンター福祉交流館3階
- 相談方法 来所相談及び電話相談
電話番号 073-422-2081
(来所の場合は事前に予約をお願いします)
- 相談内容 複雑な内容の困りごとを抱えている方やそれに気づいた方からの相談窓口となります。「内容が複雑でどこに相談してよいかわからない」といったことなど、まずはご相談ください。

お問い合わせ先 生活支援班 ☎073-422-2081

LINE相談

- 日 時 毎週月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
8時30分～17時15分
 - 相談内容 直接相談に行けない、電話で話しにくい不安な気持ちを誰かに聞いてほしい家族に電話の声を聞かれない匿名で話したい など
- ※時間外の相談にも相談内容を送信いただけますが、その場合お返事は後日になることをご理解ください。
※詳細は当会ホームページよりLINE相談窓口(LINE公式アカウント)運用ポリシーをご確認ください。

右のQRコードまたはID検索より友達登録してください。メッセージに相談内容をご記入ください。内容確認次第、当会の相談員が対応いたします。

ID 検索

@779kedxb



令和5年度「わかやまし社協」広告主募集! ※広告掲載は有料です。

- ◆掲載場所 2ページから7ページの下部(縦45mm×横190mm)
- ◆募集数 6枠
- ◆配布数 約14万部/回(年4回発行)
- ◆募集期間 令和5年4月20日(木)まで

お問い合わせ先 総務班 ☎073-431-5249

